

第19回 大阪市障がい者スポーツ大会 実施要項

1. 目的

障がいのある人がスポーツを通じ、体力の維持、増強と能力の向上を図るとともに、積極性と協調性を養い、自立と社会参加の促進に寄与することを目的に、各種スポーツ競技会を開催します。

あわせて、2019年10月12日(土)～14日(月)に茨城県において開催予定の「第19回全国障害者スポーツ大会」[派遣期間：10月11日(金)～15日(火)]に出場する選手の選考及び育成と、市民啓発を推進することを目的に実施します。

2. 主催

大阪市

3. 主管

(一財)大阪市身体障害者団体協議会、(社福)大阪市手をつなぐ育成会、(社福)精神障害者社会復帰促進協会、(社福)大阪市障害者福祉・スポーツ協会

4. 大会日程及び会場

実施競技	日時	会場
ボウリング [知的障がい者のみ]	2019年5月3日(金・祝) 受付：午前9時～ 開始式9時40分～	弁天町グランドボウル (大阪市港区弁天1-2-3)
アーチェリー [身体障がい者のみ]	2019年5月11日(土) 受付：午前9時～ 開始式：9時30分～	長居障がい者 スポーツセンター
卓球 [サウンドテーブルテニス含む]	2019年5月18日(土) 受付：午前10時～ 開始式：10時30分～	長居障がい者 スポーツセンター
水泳 ※	2019年5月19日(日) 受付：午前10時30分～ 開始式：12時40分～	舞洲障がい者 スポーツセンター
陸上競技 ※	2019年5月26日(日) 受付：午前10時～ 選手激励式：10時30分～	ヤンマースタジアム長居
フライングディスク ※		

※精神障がい区分の水泳、陸上競技、フライングディスクはオープン参加となります。
なお、精神障がい者の卓球競技への参加は、今大会より全国大会への選考対象となります。

5. 申込期間

2019年4月1日(月)～4月20日(土) — 必着 —

6. 申込方法

(1) 参加希望者は、所定の「参加申込書」に必要事項を記入し、次のいずれかにご持参ください。

- 大会事務局、長居・舞洲障がい者スポーツセンター
- (社福) 大阪市手をつなぐ育成会
- 各区保健福祉センター 保健福祉課
- (社福) 精神障害者社会復帰促進協会
- (一財) 大阪市身体障害者団体協議会

※大会事務局へは、郵送、ファックス、電子メールによる申込みも受け付けます。ファックスの場合、必ず到着の確認をお願いします。電子メールの場合には、<http://www.fukspo.org/sports.html>より所定の「参加申込書」をダウンロードし、メールに添付のうえ、s-entry@fukspo.orgまでお送りください。

(2) 申し込み時、またはその後、障がいの状況、現住所、年齢、性別が確認できる書類の提示を求めることがあります。

(3) 申込期間終了後、4月28日までに、参加確認通知を発送します。大会当日にその通知を必ずご持参ください。届かない場合は、5月1日までに大会事務局へお問い合わせください。

(これ以降の申し出については、受け付けすることができません)

7. 参加費

無料(ただし、参加に必要な交通費等の費用は各自負担)

8. 参加資格

大阪市内に現住所(住民票のある地)※1を有する身体障がい者(身体障がい者手帳の交付を受けた方)、知的障がい者(療育手帳の交付を受けた方、あるいはそれに準ずる方※2)、精神障がい者※3(精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けた方、あるいはそれに準ずる方※4)で、年齢が2019年4月1日現在13歳以上の方。

※1 大阪市内にある施設や学校等に入所、通所、通学している方でも参加を認めます。

※2 知的障がい者(児)社会福祉施設、支援学校、特別支援学級等に在籍している方。

※3 卓球競技を除く精神障がい区分での参加は、オープン参加とします。(全国障害者スポーツ大会選手選考の対象外)

※4 自立支援医療受給者証の交付を受けた方。あるいは、主治医による通院証明書が提出可能な方。

9. 競技規則と実施競技・種目

2019年度に適用の「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会実施要項により行います。
実施競技・種目は、裏面をご参照ください。

10. 出場制限

- 陸上競技、フライングディスク、水泳
「競技・種目表」の中より、1競技について2種目まで参加できます。ただし、次の点にご注意ください。
 - 陸上競技において、競走競技は「50m」と「100m」、跳躍競技は「立幅跳」と「走幅跳」、投てき競技は、障害区分08を除き「ジャベリックスロー」と「ソフトボール投」の両方に申し込むことはできません。
 - フライングディスクに参加する選手は、アキュラシーの「ディスリート5」と「ディスリート7」の両方に申し込むことはできません。
- ボウリング、アーチェリー、卓球
1人1種目とします。ボウリングの参加資格は、アベレージが男子80点以上、女子60点以上の方とします。
- 参加申込者が多数の場合は制限することがあります。なお、1種目の参加者数が少ない場合は、複数の種目もしくは、区分をあわせて実施する場合があります。

11. 注意

- 本大会の成績は、第19回全国障害者スポーツ大会の大阪市代表選手候補選考の参考とします。
 - ※精神障がい区分の卓球競技参加者には、選考にかかる必要書類の提示など、参加確認通知発送時に別途お知らせします。(精神障がい者の卓球競技以外の参加は、選考対象外です)
 - ※全国障害者スポーツ大会の個人競技への出場について、原則として、同一選手の同一競技への連続出場は3回までとしますのご留意ください。ただし、他に候補となる選手がいない場合は、この限りではありません。
 - ※候補者へは、2019年6月末までに大会事務局より連絡します。
- アーチェリーとフライングディスクを除き、年齢を次の各部に分けて競技するものとします。
 - 身体障がい者：1部(39歳以下)、2部(40歳以上)
 - 知的障がい者：少年の部(19歳以下)、青年の部(20歳～35歳)、壮年の部(36歳以上)
 - ※精神障がい者は、年齢区分なしとします。
- 出場選手は、大会の前に医師の診断を受けるなど、体調の調整には十分ご注意ください。大会当日のケガや病気については、応急手当を除いて主催者は一切責任を負いませんので、健康と安全には各自が十分ご注意ください。
- 雨天の場合にも競技を行います。荒天の場合など、主催者が選手の安全を考慮して競技を中止させることがあります。
 - ※実施態度決定：午前7時「長居障がい者スポーツセンター」ホームページにて公開します。
- 各競技において、コーチが選手へ助言を行う場合は、助力とならないように、競技エリア外で行ってください。競技役員によって助力と認められた場合は、全国障害者スポーツ大会選手選考の対象にならない場合がありますのでご注意ください。
- 陸上競技について
 - 50m競走では、スタンディングスタートのみとします。(スターティングブロックを使用することはできません)
 - 車いすで100m以上の種目に出場する選手は、ヘルメットを必ず着用してください。
 - 競技で使用する車いすについて、50m競走では日常生活用、800m以上の競走競技では競技用車いす(レーサー)を使用してください。
 - 視覚障がい者で伴走者が必要な選手は、各自で伴走者を手配してください。(手配が困難な場合は、大会事務局へ事前にご相談ください)
 - 障害区分24(視力が0から0.01まで)の選手は、競技エリア内にて、光を通さないアイマスクの装着が必要です。なお、アイシェードの使用も可能です。
- 水泳について
 - 障害区分24(視力が0から0.01まで)の選手は、競技エリア内にて、光を通さないゴーグルの装着が必要です。
- アーチェリーについて
 - つけ矢(練習)6射の内3射以上が的から外れた場合は、安全のため競技を中止させる場合があります。
 - 弓具は、各自で持参してください。
- 卓球について
 - 卓球の使用球は、日本卓球協会公認プラスチック球40mmホワイトとします。
 - サウンドテーブルテニス
 - ・使用球は、日本障がい者スポーツ協会公認プラスチック球40mmオレンジとします。
 - ・アイマスクは、各自で持参してください。また、アイシェードの使用も可能です。
 - 会場は土足厳禁のため、必ず上ぐつをご用意ください。
- ボウリングについて
 - シングルレーンで1人2ゲームとします。

12. 問合せ先

大阪市障がい者スポーツ大会事務局
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-32 大阪市長居障がい者スポーツセンター内
電話 06-6606-1631 ファックス 06-6606-1638 E-mail: s-entry@fukspo.org